

令和6年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名: 北薩地域振興局農政普及課出水市駐在

課題名① サツマイモ基腐病対策の実践		評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
項目	評価の視点	適当	概ね適当	要改善		
課題の設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	7	0	0	・サツマイモ基腐病が出水地区でも発生したため、早急な対応が必要であると思われる。	サツマイモ基腐病対策を関係機関・団体と連携を取りながら、農家への対策実践を進めていく。
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	6	1	0	・出水地域作付面積を基に、澱粉用甘藷部会になったが、青果や焼酎用の方も対象にして欲しかった(早急な対応としてしようがない面も理解できる)。	焼酎用かんしょの生産者は、でん粉用かんしょ部会と重複する生産者が多いので、そこでカバーしていく。青果用かんしょの生産者は、長島町に多いので、長島町と連携を取り生産者を集め対策を指導していく。
活動体制・活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	6	1	0	・基腐病が発生したほ場農家へ直接指導、情報提供など農家に積極的に働きかけていて、良いと思う。 ・サツマイモ基腐病が認知されてから、まだ日が短いため、栽培技術に効果があったように思う。	今後も、関係機関と連携を取りつつ、基腐病対策を呼びかけ、さつまいもの生産安定を進めて行く。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	7	0	0		
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	5	2	0		
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	5	2	0	・基腐病対策が発生したら除外するという方法しかないので、基腐病菌に効果のある薬や技術の開発が望まれる。	現時点では、農薬は予防剤しかないので発生株は除外しか手段はないが、治療効果のある剤が登録されれば、早急に波及を進めていく。
活動の波及性と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	4	3	0	・単価低迷による離農者や作付減になる傾向が強まりそうだが、どうなのか?	単価の安い品目ではあるが、①単収向上による収益性向上や、②夏場の品目で省力的に生産する技術を駆使し、さつまいもの生産を継続させていきたい。
	⑧結果が十分でないものは今後の対策を考えられているか	4	3	0		

令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 北薩地域振興局農政普及課出水市駐在

課題名① サツマイモ基腐病対策の実践		評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
項目	評価の視点	適当	概ね適当	要改善		
課題の設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	8	0	0	・輸作たいいけいでの主力品目のため、今後も対策の研究を引き続きお願いします。 ・農家の夏場の収入に重要です。品種、技術指導適切に行うこと。 ・かんしょ作付けにおいては重要課題である。 ・発生状況や要因分析など適切に捉えられている。	さつまいもは、夏場の重要な品目であるので、生産量に影響ないよう、サツマイモ基腐病対策の実践を生産者へ指導しつきまいるの生産安定を目指していく。
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	6	2	0	・適切である。	サツマイモ基腐病対策の実践を、引き続き生産者へ呼びかけていく
活動体制・活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	8	0	0	・JA部会や市町の広報紙等を活用し、生産者へ幅広く情報が伝わるよう取り組んでいる。 ・JAとの連携も図られている。	関係機関と連携を取りながら、サツマイモ基腐病の発生を抑えていく。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	7	1	0		
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	6	2	0		
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	6	1	1	・輸作たいいけいでの主力品目のため、今後も対策の研究を引き続きお願いします。 ・農家の夏場の収入に重要です。品種、技術指導適切に行うこと。 ・被害の減少につながっている。 ・基腐れ病の症状が周知され対策の徹底が定着してきている。 ・対策効果が実績に現れているが、全体的な作付現象が懸念される。	農家に対して、サツマイモ基腐病対策の周知を図りながら、発生以前の単収を取り戻せるよう、生産技術の改善も進めていく
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	8	0	0		
活動の波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	5	3	0	・全体的な生産が落ちているので、作付させる手法・指導が必要。 ・引き続き対策の徹底が必要であり、新たな対策方法や基腐れ病に強い品種への転換等進めてもらいたい。	サツマイモ基腐病対策の実践の次に、単収向上の技術改善も進めていく。また、新たな抵抗性品種等が登録されれば、すぐさま展示ほ等設置し波及に努めていく。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策を考えられているか	5	3	0		

課題名

サツマイモ基腐病対策の実践

成果の要約

- 関係機関と連携して、「北薩地域サツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム」ができた。
- サツマイモ基腐病対策が整理され、農家がそれを実践するようになった。
- サツマイモ基腐病が抑えられた。

1 対象

阿久根市、出水市、長島町、JA 鹿児島いづみ
JA 鹿児島いづみでん粉用かんしょ部会

2 課題を取り上げた理由

- (1) 平成 30 年 12 月 11 日に「サツマイモ基腐病」が同定され、県内のさつまいも产地である南薩、大隅、種子島で大きな被害が見られた。その後、県内の他地域でも発生が見られ、全県的に対策を取って行くことが緊急的な課題であるとし、北薩地域振興局出水市駐在でも取り込むことにした。

3 活動の内容及び成果

(1) 関係機関と体制整備

さつまいも生産に関する市町、JA、でん粉会社、焼酎会社、集荷業者、県からなる「北薩地域サツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム」を設立した。

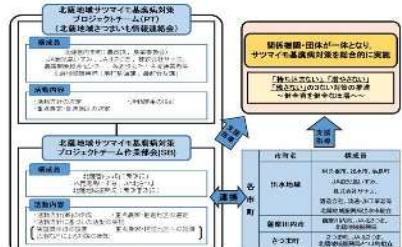


図1 体制図

- (2) サツマイモ基腐病対策の整理
「持ち込みない対策」
「増やさない対策」
「残さない対策」



図2 基腐病対策の防除暦

(3) 発生状況調査

市町と連携し、3 月～9 月にかけて、育苗床やほ場における基腐病の発生状況を把握し、発生ほ場は、生産者を特定し、速やかに対策をT るよう指導を展開した。

(4) 実証ほ・展示ほの設置

- ア 抵抗性品種の実証・展示
イ 予防薬剤の散布実証
ウ 展着剤の効果確認
エ こないしんの定植時期の検討



4 今後の課題

- (1) サツマイモ基腐病の発生以降に低下した単収の向上
(2) 新しい塊根腐敗対策の実施

5 発表者

- オ こないしんの採苗法の検討
カ ドローン防除の効果確認

(5) 情報提供

- ア 講習会の開催
イ 広報誌等による情報伝達
ウ さつまいも防除暦

生産者が集まる機会として、JA 鹿児島いづみのでん粉用かんしょ部会の研修会において、基腐病対策に関する情報を提供した。また、市町の広報誌、JA の情報誌、農政普及課の発行する「普及だより」にも基腐病対策の情報を掲載し、広く情報の波及に務めた。

(5) 活動の成果

- ア 令和 4 年から、基腐病の発生状況を調査してきたおり、年々、発生は抑えられてきている。

基腐病の発生状況（北薩地域振興局）

	無	少	中	多	極	面積
令和4年	91.1	5.6	1.7	1.2	0.3	0.0
令和5年	94.8	4.2	0.4	0.4	0.2	—
令和6年	96.0	3.0	1.0	0.0	—	286ha

- イ 農家がサツマイモ基腐病対策を理解し、実践するようになった。

- (ア) 抵抗性品種の導入
(イ) 適正な薬剤防除の組み立て
(ウ) 早植え、早堀りによる発症回避
(エ) 基腐病菌密度低下のための休耕
(オ) 健全な種イモ確保